

学生の皆さん。既にご承知のとおり、本学では、8月下旬から、多人数の学生の会食を通じ、22人の新型コロナウイルス感染者が発生しました。学生は、授業の休業期間であっても、友人関係やサークル、アルバイト、そしてボランティアなどの様々なつながりの中で生きています。その活気は、大学にとって財産です。しかし、軽症や無症状の若者も多いこのウイルスの特徴から、人の移動や感染の状況等に応じて、皆さんにも行動の制限が必要な時があります。その中では、一人ひとりが責任ある行動を行わなければ、気づかずに周囲に感染を広めかねないことを自覚し、マスクなど基本的感染対策をし、感染リスクの高い活動をせず、風邪症状などがあれば外出せずに相談すること、を徹底してください。

本学は、8月28日から順次、上田、長野（教育）、長野（工学）の各キャンパスについて学生の入構を原則禁止とするとともに、全学的にサークル活動を禁止しました。今回発生した感染者はいずれも学外での会食等に起因するものでしたが、陽性判明後ただちに接触の可能性のある学生に自宅待機などの措置をとり、保健所等と連携し速やかにPCR検査等を行ってきました。この結果、2週間以上前の会食等に端を発した一連の感染経路による新たな感染者の可能性はほとんどなくなったと考えられます。ただ、安全確認のためもあり、入構禁止期間を9月13日までとしています。

大学には、学業・研究はもちろん、就職や進学、教育実習や臨床・臨地実習など、未来に向けてチャレンジしている仲間がいます。冒頭で申し上げた若者の活気も含めて、こうした学生の熱量が大学の活力の源です。ウィズ・コロナの時代、感染者を完全にゼロにすることは難しいかもしれませんが、そうした場合でも皆さんの活動を止めず、続けられるよう、感染防止対策を徹底しながら、全力で取り組んでいきます。

このウイルスは誰もが感染する可能性があるものです。したがって、感染者をはじめ関係者を責めたりせず、ともに支えあって、活力のある大学を一緒になって築いていきましょう。

令和2年9月9日

信州大学長 濱田 州博